

榛東村防災中枢機能施設整備事業 みんなの広場等備品購入業務仕様書

1. 業務名

榛東村防災中枢機能施設整備事業みんなの広場等備品購入業務

2. 摘要

本仕様書は、榛東村防災中枢機能施設（以下「新施設」という。）のみんなの広場及びしごと学習スペースに設置する備品の仕様について必要な事項を定めるものである。

本仕様書の内容に疑義が生じた場合、又は明記のない場合は、すべて発注者の指示によるものとし、書面にて協議、指示、承認を行う。

3. 搬入・設置場所（別紙「榛東村防災中枢機能施設備品配置図」参照のこと）

榛東村大字新井152番地 外

榛東村防災中枢機能施設 公民館棟 みんなの広場 みんなのテラス しごと学習スペース

4. 榛東村防災中枢機能施設整備スケジュール

（1）新施設供用開始予定 令和7年11月頃

5. 履行期限

令和7年10月30日（木）

6. 業務範囲

- （1）備品の運送・搬入一式
- （2）備品の施工組立・設置一式
- （3）調整一式
- （4）養生・清掃一式

7. 備品の条件、仕様、安全性、及び保証等

- （1）備品は、納品時においてすべて新品のものとし、傷、歪み、凹み及び汚れの付着等がないものであること。また、納品までの間に製品の廃盤や仕様変更があった場合には、発注者と協議すること。
- （2）什器備品の色は、契約後、サンプル等を用いて、発注者と協議の上決定するものとする。
- （3）受注者は、契約締結後、仕様及び製品が確認できる資料、並びにレイアウト図に製品情報を落とし込んだ資料を作成し、発注者の承認を得ること。
- （4）受注者は、一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）の「オフィス家具-製品安全基準ガイドライン」に基づいた安全性と保障を担保しなければならない。なお、無償保証期間は引渡日を起点とする。
- （5）受注者は、備品の引渡し完了後3年間は、不備や不具合が生じた場合に備え、直ちに対応できる体制

を構築しなければならない。

- (6) みんなの広場 来館者の待ち合わせやコミュニケーションの場所としての利用を想定し、テラス部分では飲食を可とする。ただし、ギャラリーとしての機能を有していることからレイアウトの変更ができることを前提とする。ソファ及びテラスで使用するテーブル、チェアを設置する。
- (7) しごと学習スペース 個人及びグループで自主学習等での利用を想定している。利用者数は最大で50名程度とし、個人用の机10名分を含め多様な学習スタイルに対応した机及びイスを設置する。

8. 現場条件

- (1) 備品の搬入及び設置の日時は、発注者と協議の上、決定するものとする。
- (2) 備品の搬入及び設置の時間は、原則、平日午前9時から午後5時までとする。
- (3) 備品の搬入及び設置の時期は、外構工事、備品搬入及び引っ越し運搬等、他の業務と重複する可能性があるため、それらの受注業者と調整が必要となることに留意すること。
- (4) 備品の搬入及び設置の際は、開梱、組立、取付等を行い、すぐに使用できる状態とすること。ただし、発注者からの指示がある場合はこの限りではない。
- (5) 搬入車両の進入経路、重量、サイズ等については、発注者と協議の上、決定するものとする。
- (6) 備品の設置に取付具（アンカー、ボルト、転倒防止器具等を含む）が必要な場合はその施工をしなければならない。特に、高さ1500mm以上の製品には適切な転倒防止策を施すものとし、その方法については、事前に発注者の承認を得ること。
- (7) 新施設の竣工引渡し後、本件の受注者がレイアウト墨出しを行う。また、墨出しは、発注者の承認を得ること。
- (8) 受注者は、備品に損傷が生じないようにするとともに、搬入時に新施設又は他の什器備品等を損傷させた場合は、速やかに発注者に報告し、原形復旧しなければならない。
- (9) 受注者は、備品の設置後、後片付けと清掃を行うとともに、荷造用諸材料や不要となるものは、全て持ち帰ること。
- (10) 作業中の災害、事故防止のため、現場代理人を配置するなど、受注者の責任において適切な対策を行うこと。

9. 工程表の提出

受注者は、契約締結後、速やかに全体工程表を発注者へ提出するものとする。

10. その他の事項

(1) 検査

検査は、発注者が立ち合いのうえ履行期限までに行う。不備があった場合は、発注者の指示を受けるものとする。

(2) 備品代

備品代は、「6. 業務範囲」の全てを含む金額であることに留意すること。